

8月6日、火曜日。今日は最寄りのバス停から学校に向かう道すがら、たくさんのトンボやアメンボの姿を見ました。暦の上では明日は『立秋』。実感こそわきませんが、秋が近づいているのですね。さて、先週に心温まる詩を紹介しました。今回は、前回の『兄妹愛』に引き続いての『親子愛』についての詩です。下に紹介します。

こころのお花

わたしのこころにはね

やさしさのお花が

さいているんだよ

その花をお友だちわたすと

またお友だちから帰ってくるよ

そのお花の

いちばんさいしよのたねは

お父さんとお母さんがくれたよね

(神戸市 小学2年生の作品)

◎優しさの連鎖。なんと心温まる詩で

しょう。わたしの心にもお花が咲き

ました。

さて、児童のみなさんは、校長先生が夏休み中に励んで欲しいと言った「家の仕事のお手伝い」に励めていますか。家族も、「もちつもたれつ」です。特に夏休み中は普段よりも増してお手伝いをがんばってほしいです。

父母からの

こころのお花

受け継いで

